

## 平成28年度第3回市川市介護保険地域運営委員会 会議録

1. 開催日時：平成28年12月15日(木) 午後2：30～3：30

2. 開催場所：市川教育会館 多目的ホール

3. 出席者

### 【委員】

委員長 伊藤委員

副委員長 高木委員

委員 新井委員、内田委員、大野委員、谷口委員、戸田委員、森本委員

### 【事務局】

荒井(介護福祉課長)、清水(介護福祉課主幹)、白井(福祉政策主幹)

入江(介護福祉課副主幹)増田(介護福祉課副主幹)、大賀(福祉政策課主任)、

阿部(福祉政策課主事)

4. 議事

(1) 予防給付ケアマネジメント業務委託について

(2) 高齢者サポートセンター 平成28年度上半期運営評価の報告について

### 《配布資料》

資料1 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について

資料2 運営評価の手順について

平成28年上半期 高齢者サポートセンター運営評価結果一覧

平成28年度 高齢者サポートセンター運営評価(上半期)

5. 進行

(1) 配布資料の確認

事務局より、配布資料の過不足についての確認を行った。

項 目	内 容
白井主幹	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。 福祉政策課の白井でございます。本日の司会を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
白井主幹	<p>また、本日は淡路委員、佐藤委員より欠席のご連絡をいただいております。</p>
白井主幹	<p>それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。 事前に送付いたしました資料として、</p> <p>会議次第 資料1 予防給付ケアマネジメント業務委託の追加事業者について 資料2 運営評価の手順について 平成28年上半期 高齢者サポートセンター運営評価結果一覧 平成28年度 高齢者サポートセンター運営評価(上半期)</p> <p>以上をお配りさせていただいております。 お持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
白井主幹	<p>会場の都合上、マイクの本数が3本となっておりますので、ご発言いただく際は、お近くのハンドマイクを皆さままでお使いいただきますようお願いいたします。ご発言が終わりましたら、お手数ですがハンドマイクのスイッチをお切り下さいますよう併せてお願いいたします。</p>
伊藤委員長	<p>それでは、これより議事の進行を伊藤委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤委員長	<p>ただ今より、平成28年度第3回介護保険地域運営委員会を開催いたします。</p> <p>これより、議事に移りますが、その前に、確認しておかななくてはならない事項があります。 本日の会議は、「市川市介護保険条例条例第15条」により半数以上の委員に出席をいただいておりますので、本委員会の開催は成立いたします。</p>
伊藤委員長	<p>なお、本委員会につきましては、「市川市審議会等の会議の公開に関する</p>

	る指針」により原則公開となっております。
伊藤委員長	本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。
阿部主事	本日は傍聴希望者はありません。
伊藤委員長	それでは、議題（１）「予防給付ケアマネジメント業務委託について」です。介護福祉課より、説明をお願いします。
増田副主幹	介護福祉課、増田です。議題１「予防給付ケアマネジメント業務委託について」ご報告させていただきます。資料１をご覧ください。 前回８月の地域運営委員会後に介護予防支援事業者委託の追加事業者が資料のとおり１１箇所ございましたのでご報告いたします。今回は１１箇所のうち４箇所が同事業者となっております。これまで行徳支店として行っていた事業所が新しく居宅事業者となったため、再契約が同事業者で４つとなっていると報告を受けております。以上となります
伊藤委員長	只今、介護福祉課より説明がありましたが、只今の件について、何かご質問がありましたら、お願いします。ありませんね、それではご承認いただいたということで。
伊藤委員長	続いて、議題（２）高齢者サポートセンター 平成２８年度上半期運営評価の報告についてです。介護福祉課より、説明をお願いします。
清水主幹	介護福祉課、清水です。高齢者サポートセンター平成２８年度上半期運営評価についてご報告させていただきます。よろしく願いいたします。まず、運営評価の趣旨についてご説明いたします。資料２の運営評価の手順についての１．目的は、地域の高齢者とその家族を支援する中核的な役割を担う高齢者サポートセンターについて、一定の基準に基づいて評価し、その結果を活かしてより良い運営・活動に向けた取組みを推進することを目的として運営評価を行っております。２．評価期間についてですが上半期が４月～９月、下半期が１０月～３月の計２回となります。今回は上半期になりますので２８年４月～９月までの半年分の評価になります。３．評価の視点についてですが、サポートセンター運営評価チェックリストに基づきまして自己評価、自己点検を行います。また、事業計画書と月別実績報告書等を見ながら、そのほか必要に応じてヒアリングを行い、状況確認を行います。４．評価の流れについてですが、各センターが自己評価を行い評価者は評価基準に従って行政評価を行いその内容をとりまとめ評価結果報告書を作成いたします。評価者は、介護福祉課長及び担当職員。被評価者は高齢者サポートセンター業務責任者（管理者）、及び圏域

担当職員。評価項目は高齢者サポートセンター運営評価票に従って項目を立てております。評価基準につきましては、評価点をNから1、2、3、4と基準を設けて、業務執行の水準はNは該当事例なし、4が最も肯定的な評価、1が最も否定的な評価となり1から4に向かって評価が高くなります。水準のめやすは最も肯定的な評価が80%以上の達成率、最も否定的な評価が20%未満となります。

2枚目をご覧ください。上半期の高齢者サポートセンター運営評価結果一覧、行政評価を行ったものについてご説明いたします。評価項目は、大きな項目といたしまして、Ⅰセンターの行う業務に係る方針に関すること。Ⅱセンターの運営に関すること。Ⅲその他の事項。と大きな項目を3つ設けました。それぞれの大きな項目の中の、中項目の自己点検をもとに行政がヒアリングを行い、実績などと合わせながら行政評価をしたものの一覧となります。一覧表の一番下右側をご覧ください。行政評価の平均が192点、達成率が96%でした。達成率を前回の評価結果と比較しますと1.1ポイント上昇しております。自己評価の平均は188.4点、達成率は94.2%となっております。達成率を前回の評価結果と比較しますと、5.7%上昇しております。また、表のなかにはお示ししていませんが、行政評価と自己評価の差については、前回評価結果と比較しますと6.4ポイント差から1.8ポイント差となり行政評価と自己評価の差が小さくなっております。各項目の配点については票の中の配点という項目をご覧ください。全ての項目を合計しますと200点となり、200満点となります。15ヶ所のセンターを一覧にしましたが、一番評価の高かったセンターは6ヶ所で100%。達成率が一番低かったところで84%となっております。資料1枚目の運営評価の手順についてももう一度ご覧ください。水準のめやすにつきましては80%以上の達成率があれば、優良可の優と評価しております。したがって、上半期の評価は15ヶ所すべてのセンターが優となります。

資料の3枚目からは、自己点検をもとに担当職員がヒアリングを行ったものを中心に記載してあります。具体的な取組み内容と今後取り組みたいこと聞き取り、工夫した取組み、課題、今後に期待したい取組みという形でまとめました。詳細については省略いたしますが各センターが地域の実情を踏まえて取り組んでいる様子が伺えるかと思えます。また、前回設備等で改善を求めたセンター2ヶ所につきましては現場を確認し、改善を確認したことをご報告いたします。以上でございます。

伊藤委員長

只今、介護福祉課より説明がありましたが、只今の件について、何かご質問がありましたら、お願いします。はい、新井委員。

新井委員

行政評価と自己評価の差がなくなってきたというのは大変良いことだと思います。ただ、一点わからないのが資料2の表なんですけど、Ⅰの

	<p>センターの行う業務に係る方針に関することの③で公正・中立性確保に関する取組の菅野須和田センターが2なんですね。2ってことは50点くらいってことですね。あまり中立性とか公正に関する取組ができていなかったということなんですか。</p>
清水主幹	<p>お答えいたします。高齢者サポートセンターの菅野須和田の③のところは2点になっている理由についてですが、地域の介護サービス事業所から公正・中立性に関する苦情が市の方に入りまして、菅野須和田の現場に行きまして記録等全て確認いたしまして公正・中立性の確保について誤解を招くようなことがあったということで確認をしております。従いまして、担当職員の方でそういった事実があったということで2という評価をしております。</p>
新井委員	<p>では、これは誤解だったってことですね。</p>
清水主幹	<p>そうですね。記録で全て確認していくと、苦情の内容が記録上では認められなかったのですが、職員と介護サービス事業所の間で意見のすれ違いなどもあったのですが、思い当たるような言動がセンター職員側にもあり、職員の中で反省し改善していきたいということで、市はご報告を受けております。</p>
伊藤委員長	<p>よろしいですか。他にご意見ありますか。どうぞ。</p>
戸田委員	<p>全体的な評価をここで拝見しておりますけれども、高齢者サポートセンター同士の話し合いというのはなされているのかなと思いました。高齢者サポートセンターの評価がそれぞれに出ているわけですけど、お互いの良さとか反省点っていうのを高齢者サポートセンター同士が話し合って改善するっていうような機会というか取組みはなされているのかなと思ったのですがいかがでしょうか。</p>
清水主幹	<p>まず、一覧表につきましては必ず高齢者サポートセンターに運営委員会の方に報告いたしましたということで提示をしております。また、各15ヶ所の高齢者サポートセンター間の意見交換ですとか、良いところということなんですが、月1回管理者を集めた会議を、毎月定例会として行うなかでの情報交換ですとか、その他15ヶ所を4圏域に分けておりますので、圏域ごとの会議も定例会として月1回行っておりますので、それぞれの高齢者サポートセンターでの活動の情報交換をしながら、センター間で取り入れたい活動等情報交換をしております。</p>
戸田委員	<p>ありがとうございました。</p>

伊藤委員長	<p>他にございますでしょうか。はい、森本委員。</p>
森本委員	<p>森本です。この全体の評価は、この水準を維持していきましょうっていうものなのか、全部200点目指していくという見方をしているのかというのが一つと。もう一つは、今後この結果を活かして行政として具体的に分析して何かサポートするとか活かしていくのか、それとも評価実施している時点で指導して是正を求めていくのか、そのあたりをお聞かせください。</p>
清水主幹	<p>お答えいたします。まず一点目の200点に近づけるように皆がしていくのかという質問ですが、点数の評価は何個以上できれば何点というような点数のつけ方ではなく、感覚的なものになってしまうので、各高サポによって点数のつけ方に差がございます。ある高サポでは、満点をつけるのは伸び代がないので満点はつけたくないという意見のところもありますし、200点のセンターについては、満点であっても、センター側からあさらに上を望むための改善点をを而出されております。一覧表にはしておりますが15ヶ所を比較するのではなく、ひとつひとつの高サポをみて点数が少し上がるようになっていけば、各々その部分を評価するような形での見方をしていきたいと思っております。</p> <p>二番目のこの結果を見て行政としてどうするのかということですが、取組内容等よく見まして、各地域の特性がありますので地域ごとの課題をきちんと把握しているのかということとをひとつひとつ丁寧に見ていく中でそこをひとつでもクリアできるような取り組む姿勢と実践があるのかということを見ていくという段階です。その結果が分かるようになるのはいつになるかはわかりませんが、まずひとつひとつクリアしていく過程の中で行政の方も支援させていただきたいと思っております。</p>
森本委員	<p>ありがとうございます。課題をはっきりさせるという意味合があるんですね。</p>
伊藤委員長	<p>他にご意見ありますでしょうか。評価は確か昨年話題になって、評価という順位づけみたいになってしまいましたが、そうではなくてペナルティがあるわけでもないですし、質の向上といったところですよ。</p> <p>他にどうでしょう。ないようですので、平成28年度第3回介護保険地域運営委員会を終了します。この後、事務局より今後の予定等についての連絡があります。それでは、事務局より説明をお願いします。</p>
白井主幹	<p>皆さまお疲れ様でした。初めに、次回の予定についてですが、次回の委員会につきましては、2月13日(月)を予定しております。ご都合の悪い委員の方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。</p>

	事務局からは、以上です。ありがとうございました。
--	--------------------------

市川市介護保険地域運営委員会  
委員長 伊藤 勝仁